

クマによる人身事故に注意！

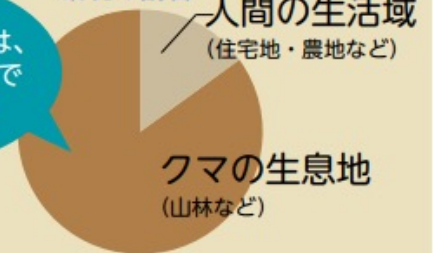
人身事故は、クマの生息地で発生するものと人間の生活域で発生するものがあります。それぞれの状況に合った対策や取り組みを行うことが重要です。

出会わないことが
もっとも重要！



多くの人身事故は、クマの生息地内で発生している

人身事故が発生した場所の環境の割合



※日本クマネットワーク (2011) で示された人身事故が発生した場所の環境のデータから「不明」を除き、大まかに示した。

クマの生息地で事故に遭わないために

●クマと出会わないために

- 自分の存在を知らせる
 - ▶ クマ鈴やラジオなど、音の出るものを携帯しましょう
 - ▶ 見通しの悪い場所や、沢沿いなどの音が聞き取りにくいところでは、声を出したり手をたたいたりして存在を知らせましょう
- クマの生態や行動についてよく知る
 - ▶ 各季節のクマの食べ物や生態を知ること、遭遇を避けられる
- 目撃・出沒情報のあったところには近づかない
 - ▶ 自治体の HP やビジターセンターの HP など公開
(例：日光湯元ビジターセンター
http://www.nikkoyumoto-vc.com/nature/kuma_d.html)
- クマの新しい痕跡(糞、食痕、爪痕など)があった際は十分気を付ける
- 春と秋は事故も多くなる傾向にあるので特に注意



クマ鈴



クマの爪痕

●クマに出会ってしまったら…まずは落ち着きましょう！

(下記は一例です。詳しくは <http://www.shiretoko.or.jp/library/bear/>)

- 距離が離れていた場合 (クマがこちらに気付いていない)
 - ▶ ゆっくりと静かに立ち去る
- 比較的距離が近い場合 (50m 程度)
 - ▶ 両腕をふりこちらの存在をクマに知らせ、クマから目を離さずにゆっくりと静かに後退する。森林内であれば、万が一の突進に備えてクマとの間に障害物がくるようにする。
- 距離が近い場合 (20m 程度)
 - ▶ クマがパニックになり突発的な攻撃をする可能性があるため、刺激しないことが大切。走ったり大声を出したりせず、クマから目を離さずにゆっくりと静かに後退する。森林内であれば、万が一の突進に備えてクマとの間に障害物がくるようにする。
- クマが突進してきたら (威嚇突進)
 - ▶ 威嚇突進の場合は、途中で止まり後退することが多い。落ち着いて、クマとの間に障害物がくるようにゆっくりと後退する。
- クマが突進してきたら (本当の攻撃)
 - ▶ クマスプレーを目や鼻をめがけて噴射する。
クマスプレーがない場合は、防御姿勢をとる。

子グマに注意！
近くに必ず母グマがいます。
母グマは子グマを守るために
特に攻撃的になりやすいです。



クマスプレーの発射準備！